

中小企業家同友会釧路支部

加盟460社プロジェクト

第1号が入会 着実に会員のばす

釧路管内法人4600社の1割を会員にと、6月1日からプロジェクトをスタートした中小企業家同友会釧路支部(横地敏光支部長)で、4日、プロジェクトで第1号入会となったビケンワーク釧路支社(小和田力支社長)に会の三つの目的を掲げた額を寄贈し、入会手続きを行った。

(坂上めぐみ)



この会員増強プロジェクトは「DAY7・31」と名付けられ、7月31日までに、会員460社を達成しようというものである。4日現在の会員数は432社。亀岡孝副支部長を10%プロジェクト本部長に、プロジェクトメンバー50人を委嘱。この50人(社)が新たな会員増強の「中核」として、同友会のモットー「社員と経営者がともに学ぶ」の目的の額を受けるビケンワークの小和田支社長(右)。

今年法人1割の460人に到達する最終目標年を迎えた。亀岡本部長は「会員になるには、働く意義と地域貢献を理解し経営を学ぶ意思があれば十分」と話す。

この2年間、経営環境の厳しい釧路地域で会員を伸ばして来た理由について、同本部長は「経営改善につながる勉強をする組織という目的が明確であること。地域の会員と交流、磨きあうことで、強い経営体質を築き、人としても磨かれる。また、その中で互いに受注が生まれ、地域も元気になります」とアピールしている。